

# 嵐山・嵯峨野

## 竹林



嵯峨野・嵐山の竹林。

中には折れているものもある。整然と立ち並ぶ中で、アーチのシルエットが美しい。完璧ではない自然の美を感じた。寿命や自然の猛威によって創造された、自然のかたち。人の力では、なし得ない芸術。

竹は世界全体では、約 1100 種類あると言われている。

竹類の一生は開花結実して、新しい個体が発生してから、次に開花するまでの期間だという。しかし、その一生は何十年、何百年、あるいはどれだけの期間なのか、種類によっても、また系統によってもほとんど分かっていない。植物の中でも格段に成長が早い。

昔から、竹に花が咲くのは、60 年に一度とか、100 年に一度とか言われ、昔から、竹や笹に花が咲くと凶事の前触れと恐れられたりしていた。昭和 30 年代から 40 年代にかけて日本全国のマダケに一齐に花が咲き、竹林が壊滅状態になったことがあった。

ところが、この大開花枯死は、日本だけでなく、世界中の出来事だったようだ。つまり、マダケは世界のどこに植えてあっても一齐に開花した。

この珍しいマダケの開花現象については、古文書に多く残されている。その記録をたどるとマダケの開花周期はおおよそ 120 年周期になるという。

モウソウチクは 72 年周期と言われている。

ただ、この結論にも異論は多く、次の説も同じくらい有力視されている。

竹は種族の保存のために危機に瀕した時に花を咲かせる。

つまり異常気象や人間の干渉などにより、自然界のバランスが大きく崩れ、養分の供給などがストップして生命の危機に陥った時に咲かせると言う。

開花周期にしる、植物学的分類や寿命にしる、まだ不明な部分が多い。

難しい話はよくわからないが、つまり、ミステリアスな植物だということだ。

1泊という短い期間ではあったが、そのわりに、普段では見れない沢山のいいものが見れた。

今回訪れた場所は、初めてではない所もいくつかあったが、観光ではなくて、研修というかたちで行ったことで、何かを得て帰ろうと思った。

有名どころの石庭も勉強になったが、自分なりの発見がいくつかあった。森林の中の木漏れ日。植物の力強さ。自然の美の真似できない美しさ。

皆さんに、色々なマメ知識を教わったりした。

みんなそれぞれ、違う視点で物事を見ていて、それに自分も合わせて見てみると、一人では分からないような、新しい発見があった。

自分とは違う視点で物事を見る大事さを学んだ研修だった。

END

